

木造大日如来坐像

指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうだいにちによらいざぞう
所在地	美作市角南
指定年月日	昭和59年4月10日
解説	本像は内部に空洞のない一木造。美作地方の仏像では最も古い様式をもっており、全体に穏やかな平安様式を示す地方作として注目される。もともと美作国角南村(現、美作市)にあった善福寺に伝わった仏像で、寺は慶長年間に森忠政入国の後、津山城下へ移転し現在の安国寺となった。像のみが現在の場所に残されたという。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	